

令和元年度

# 函館・大沼・噴火湾ルート 活動報告

1. ルート運営活動計画の進捗状況
2. 活動団体の活動状況及び課題
3. ルート運営活動計画の推進体制の状況及び課題
4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称:函館・大沼・噴火湾ルート	報告者:函館・大沼・噴火湾ルート 代表 佐々木 哲夫	報告年月日:2020/3/31
--------------------	----------------------------	-----------------

	ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	R1					総括
			活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況資料番号	
景観	美しい景観とは何かについて考える	景観診断の参加	-	-	-	-	-	今後、景観に関する勉強会等を開催し、ルート内の景観阻害の改善に向けた取り組みにつなげていきたい。
		テーマごとのエリアの紹介	-	-	-	-	-	
	ビューポイントを発掘する	シーニックフォト倶楽部の設立	-	-	-	-	-	次年度以降は、ビューポイントの発掘に係る調査等を行い、活用に向けた検討を行っていききたい。
		H17シーニックバスツアーの開催	-	-	-	-	-	
		シーニックルートマップの作成	-	-	-	-	-	
		フォトコンテストの開催	-	-	-	-	-	
	ビューポイント周辺の景観向上に取り組む	清掃活動の実施	シーニック清掃活動	函館・大沼・噴火湾ルート	平成31年4月29日	120名 主催者:40名 一般参加:80名	A - 1	ルート内のビューポイント周辺等における景観向上及びおもてなし活動として、シーニック清掃活動やお花の植栽活動を実施した。シーニック清掃活動では、今年度新たに1箇所拡大して実施し、次年度以降も拡大を視野に検討取り組みを進めていきたい。また、お花の植栽活動実施箇所における景観向上に向けた取り組みについても検討を行っていききたい。
			大沼国定公園安全祈願祭と大沼湖畔清掃活動	(一社)七飯大沼国際観光コンベンション協会等	平成31年4月21日	約150名 主催者:10名 一般参加:140名	-	
			道道大沼公園線清掃	七飯町建設協会 協力:(一社)七飯大沼国際観光コンベンション協会	令和1年9月6日	約100名	-	
			-	-	-	-	-	
			大船遺跡清掃活動	北の縄文CLUB	平成31年4月13日	15名	-	
		植栽活動の実施	はこだて花かいどう	函館花いっぱい道づくりの会	令和1年5月~10月	約890名(6/8植栽時) 主催者:670名 一般参加:220名	A - 2	
			湯の川温泉街花いっぱいロード	函館湯の川温泉旅館協同組合	令和1年5月~10月	約40名 主催者:30名	-	
			-	-	-	-	-	
			さわらフラワーロード	森町花いっぱい運動推進協議会	令和1年5月~10月	約300名 主催者:300名	A - 3	
			八雲フラワーロード	八雲商工会女性部ほか 協力:(一社)八雲観光物産協会	令和1年5月~10月	約80名 主催者:80名	-	
サルビア植栽	七飯町商工会		令和1年6月~10月	約20名 主催者:20名	-			
景観阻害の改善	-	-	-	-	-			

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称: 函館・大沼・噴火湾ルート		報告者: 函館・大沼・噴火湾ルート 代表 佐々木 哲夫					報告年月日: 2020/3/31		
		R1							
地域	自然を守りながらうまく活用していく	キャンプ&ラリーの開催	-	-	-	-	-	-	
		横津岳ガイドツアーの開催	-	-	-	-	-	-	
		八雲の遊楽部川に代表される自然環境教育プログラムの提供	-	-	-	-	-	-	
		自然環境教育プログラムの提供	シーニックの森づくり事業～スキミングとツル剪定～	函館・大沼・噴火湾ルート 協力: NGO 函館自然観察会	令和1年8月18日	約20名 主催者: 5名 一般参加: 15名	A	4	自然環境教育プログラムの提供として、北斗市の広報誌を活用し、一般参加者を募り、シーニックの森づくり事業～スキミング～を実施した。次年度以降も引き続き、広報誌を活用した参加者確保を図るとともに、既存イベント(きじひき高原まつり)を活用したPR・参加者確保を行っていききたい。
		その他	恵山高原ガイドツアー	NGO 函館自然観察会	令和1年5月12日	15名	-	-	
			第15回赤松こも巻き体験会	赤松街道を愛する会 協力: NPO 法人エコロジークラブ	令和1年10月19日	約90名 主催者: 10名 一般参加: 80名	-	-	
			第15回赤松こも巻き体験会	赤松街道を愛する会 協力: NPO 法人エコロジークラブ	令和2年2月22日	約80名 主催者: 10名 一般参加: 70名	-	-	
	ガイドの発掘・育成	大沼公園ボランティアガイド研修会	-	-	-	-	-	ガイドの発掘・育成については、次年度以降検討を行っていききたい。	
			-	-	-	-	-		
		ガイド発掘・育成のための連携づくり	-	-	-	-	-		
	地域と来訪者の心をつなぐ	人と人とのふれあい方について勉強する	キャンドル製作体験会in 五稜郭タワー	シーニックdeナイト実行委員会	令和2年1月18日	約200名 主催者: 50名 一般参加者: 150名	-	シーニックdeナイトで使用するワックスキャンドルの製作体験会を町内会や保育園等にて実施した。次年度以降も、製作体験会のイベント等を活用し、地域と来訪者の心をつなぐ取組を継続していききたい。	
			キャンドル製作体験会in 石川町会館	石川町会 協力: NPO 法人スプリングボードユニティ21等	令和2年1月22日	約40名 主催者: 10名 一般参加者: 30名	-		
			キャンドル製作体験会in シエスタハコダテ	シエスタハコダテ 協力: NPO 法人スプリングボードユニティ21等	令和2年1月19日	約60名 主催者: 20名 一般参加者: 40名	-		
			光の街の手工芸家達の作品展14	函館手工芸の会	令和1年10月15日～20日	約1,860名 主催者: 60名 一般参加: 1,800名	-		

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称: 函館・大沼・噴火湾ルート		報告者: 函館・大沼・噴火湾ルート 代表 佐々木 哲夫					報告年月日: 2020/3/31		
			R1						
地域	内部的な関心の共有、意識醸成	函館・大沼・噴火湾ルート活動団体一覧作成	函館・大沼・噴火湾ルート メーリングリストによる情報発信	函館・大沼・噴火湾ルート	令和1年度	-	-	函館・大沼・噴火湾ルートメーリングリストによる、地域情報等の共有や勉強会、実行委員会等を開催した。次年度以降も、メーリングリストによる情報共有など、内部的な関心の共有、意識醸成を図っていききたい。	
			函館・大沼・噴火湾ルート活動団体一覧更新	函館・大沼・噴火湾ルート	令和1年度	-	-		
			第1回シーニックdeナイト2020実行委員会	シーニックdeナイト実行委員会	令和1年12月13日	約20名 主催者: 15名 一般参加者: 5名	-		
	地域メディアとのタイアップ	FMいるかの情報誌「いるか通信」に特集記事掲載	-	-	-	-	-	札幌駅前通地下歩行空間等にて、タペストリーの展示や物販等によるルートのPRを実施。次年度以降も、積極的にルートのPRを行っていききたい。	
		FMいるかの特別番組による情報発信	-	-	-	-	-		
		FMいるかの特別番組「8月10日「道の日」による情報発信」	-	-	-	-	-		
		その他	-	-	-	-	-		
	多彩な世代に訴えかける情報ツールの開発	シーニックかるたの作成	-	-	-	-	-	多彩な世代に訴えかける情報ツールの開発・販売を今後行っていききたい。	
		地域資源を説明するカードの作成	-	-	-	-	-		
	観光	地域固有の資源を活かした観光メニューの創出	バル街V協賛イベント「街なか探訪・学びツアー」開催	-	-	-	-	縄文文化を地域住民や観光客に体験できるプログラムを作成、実施した。参加人数が多いプログラムは、キッズを対象としたものとなっている。次年度以降も、キッズプログラム等、より多くの参加者を獲得できるようPRの充実を図っていききたい。	
「旧恵山町のブナ林と春の野の花の観察と生きた火山恵山とその周辺の歴史を学ぶツアー」開催			-	-	-	-			
「鹿部町間歇泉とホタテの耳吊り体験ツアー」			-	-	-	-			
			-	-	-	-			
縄文文化を体験			南かやべ縄文まつり2019	函館市縄文文化交流センター 協力: (一財)道南歴史文化振興財団	令和1年9月29日	500名 主催者: 50名 一般参加者: 450名	A - 5		
			-	-	-	-	-		
	-	-	-	-	-				

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称: 函館・大沼・噴火湾ルート		報告者: 函館・大沼・噴火湾ルート 代表 佐々木 哲夫					報告年月日: 2020/3/31		
			R1						
観光	地域固有の資源を活かした観光メニューの創出	縄文文化を体験	縄文のアクセサリづくり	北の縄文CLUB	令和1年9月29日	10名 主催者: 2名 一般参加者: 8名	—	縄文文化を地域住民や観光客に体験できるプログラムを作成、実施した。参加人数が多いプログラムは、キッズを対象としたものとなっている。次年度以降も、キッズプログラム等、より多くの参加者を獲得できるようPRの充実を図っていききたい。	
	活動団体の連携強化と観光の質の向上	縄文文化を再現し、体験する歴史探訪ツアー	—	—	—	—	—	—	平成18年度から継続しているシーニックdeナイトを実施した。今年度は、全自治体で実施し、キャンドル製作体験会など次世代を担う子供たちなど、より地域も巻き込んだ取り組みとして実施することができた。次年度以降も地域の拡大等団体相互の連携強化を図り、さらなる観光客の獲得を目指し、ツアーの造成等の検討、PRの充実を図っていききたい。
		西部地区の歴史的街並み探索ツアー	—	—	—	—	—	—	
		温泉宿泊施設を拠点に各種体験を交えた「癒し」のツアー	—	—	—	—	—	—	
		ルート全体で取り組む「スマイルキャンペーン」	シーニックdeナイト2020	シーニックdeナイト実行委員会	令和2年2月1日(土)、2日(日)、8日(土)、15日(土)、24(月・祝)	約2,000名 主催者: 250名 一般参加者: 1,750名	A — 6	—	
		場所を変えた観光分科会の開催	—	—	—	—	—	—	
	歴史を学び活かす	「函館の歴史を学ぶ」講座	—	—	—	—	—	—	縄文以外の歴史資源を活かした勉強会などを通して、今後函館の歴史を学べるような機会の創出を図っていききたい。
		「函館の港を船上から学ぶ」講座	—	—	—	—	—	—	

# 函館・大沼・噴火湾ルート

Hakodate-Oonuma-funkawan Route

活動名：シーニック清掃活動

- 【概要】平成20年度から始まったルート連携活動。4月29日を「シーニックの日」に制定し、桜の季節に合わせて、国道沿線や観光地などを清掃するおもてなしの活動を行っている。今年度は、計4箇所を実施した。今後は、関係機関との調整を図り、実施箇所の拡大を目指す。
- 【日時】平成31年4月29日（祝）
- 【場所】五稜郭タワー周辺、函館市地域交流まちづくりセンター周辺、函館市縄文文化交流センター周辺、七飯町田園通り・高台通り周辺
- 【主催】函館・大沼・噴火湾ルート
- 【参加人数】140名



▲五稜郭タワー周辺



▲函館市地域交流まちづくりセンター周辺



▲函館市縄文文化交流センター周辺



▲七飯町田園通り・高台通り

# 函館・大沼・噴火湾ルート

Hakodate-Oonuma-funkawan Route

活動名：第16回 国道5号函館新道花いっぱい活動 2019

【概要】 函館の玄関口である国道5号函館新道インターチェンジ付近。函館新道（国道5号）の開通をきっかけとして始まった植栽活動を行う取組。札幌方面から函館新道を利用して函館に入る時の玄関口となるため、観光客や地域住民の方々に気持ち良く走ってもらおうと、おもてなしの気持ちを込めて実施している。

【日時】 令和元年6月8日（土）

【場所】 国道5号函館新道インターチェンジ付近

【主催】 函館花いっぱい道づくりの会

【参加人数】 約890名（参加団体数：28団体、小中高生の参加：672名

稜北高校、桔梗中学校、亀田中学校、スポーツ少年団、野球少年団など）



▲（上・右）地元の小中高生がそれぞれ担当する植樹罫に花植えをする様子

▲（右下）終了後、参加者に配られる人気の焼きそばに舌つつみ

# 函館・大沼・噴火湾ルート

Hakodate-Oonuma-funkawan Route

活動名：森町花いっぱい運動「さわらフラワーロード」2019

【概要】花いっぱい運動や環境美化を推進するため、町内会など地域の各種団体が集まって発足し、それ以来、町内の国道において沿道を花で彩る活動を継続して行ってきた。6月から11月頃までの間、長期間にわたって花が楽しめるよう、数万本もの花苗の植付、水やりや除草作業等の維持管理に尽力している。こうした努力により、現在では「さわらフラワーロード」として地域の観光名所に定着している。

【日時】毎年5月中旬～10月下旬

【場所】国道278号沿線 約4km

【主催】森町花いっぱい運動推進協議会

【参加人数】約300名



# 函館・大沼・噴火湾ルート

Hakodate-Oonuma-funkawan Route

活動名：シーニックの森づくり事業～ススキ刈りとツル剪定～

【概要】平成21年度から始まったルート連携活動。カーボンオフセットの考えを取り入れたCO<sub>2</sub>削減を主目的とし、ブナの森を蘇らせるために、付近の山から山取りした苗木を約100本植栽している。最近では、苗木に被圧がかかっているススキなどの下草刈りを主に行っており、今年度は、「広報ほくと」を活用した参加者の獲得を行った。今後は、既存イベント（きじひき高原まつり）も活用した参加者確保を目指す。

【日時】令和元年8月18日（日）

【場所】きじひき森林公園の森

【主催】函館・大沼・噴火湾ルート

【参加人数】約20名（主催者：5名、一般参加：15名）



▲開会式の様子



▲下草刈りの様子



▲参加者全員での集合写真

# 函館・大沼・噴火湾ルート

Hakodate-Oonuma-funkawan Route

活動名：南かやべ縄文まつり2019

【概要】 縄文文化交流センター駐車場で、南かやべ縄文まつり実行委員会主催の「令和元年南かやべ縄文まつり」が開催された。ステージでは、青森市出身の津軽三味線奏者山上進氏や、函館市を代表するトラベリングバンド「ひのき屋」、縄文太鼓演奏家の茂呂剛伸氏による演奏のほか、南茅部高等学校書道部による書道パフォーマンスが行われました。そのほか、学芸員の解説を聞きながら史跡垣ノ島遺跡をめぐる遺跡案内や、発掘体験、弓矢の的当て、火起こしなど、来場者はさまざまな催しを楽しんでいた。また、色ご飯を土偶の顔に似せた「中空土偶弁当」や、がごめ昆布を使った「ぶっかけがごころそうめん」など、地元ならではの食も人気を博していた。

【日時】 令和元年9月29日（日）

【場所】 縄文文化交流センター駐車場

【主催】 函館市縄文文化交流センター / 協力：（一財）道南歴史文化振興財団



# 函館・大沼・噴火湾ルート

Hakodate-Oonuma-funkawan Route

活動名：シーニックdeナイト2020

- 【概要】平成18年度から始まったルート連携活動。国道や道道沿線、観光施設や公園などに、全て手作りのワックスキャンドルを設置する取組。今年度は、計13箇所（内2箇所は、雪不足とコロナウィルスの影響により中止）で実施した。また、各会場では、手作りのワックスキャンドルで、シーニックのロゴマークにもなっているハート形を演出した。今後は、さらなる実施地域の拡大とツアー造成等による観光客の獲得を目指す。
- 【日時】令和2年2月1日(土)、3日(日)、9日(土)、10日(日)、16日(土)、24日(日)
- 【場所】五稜郭公園、シエスタ前～行啓通り、函館市縄文文化交流センター、函館新道、はこだて朝市ひろば、函館市地域交流まちづくりセンター、亀田八幡宮境内（以上、函館市）、矢不來天満宮、茂辺地北斗星広場（以上、北斗市）、大沼国定公園（七飯町）、オニウシ公園（森町）
- 【主催】シーニックdeナイト実行委員会
- 【参加人数】約2,000名（主催者：250名、一般参加：1,750名）



▲函館新道



▲シエスタ前～行啓通り



▲オニウシ公園（森町）

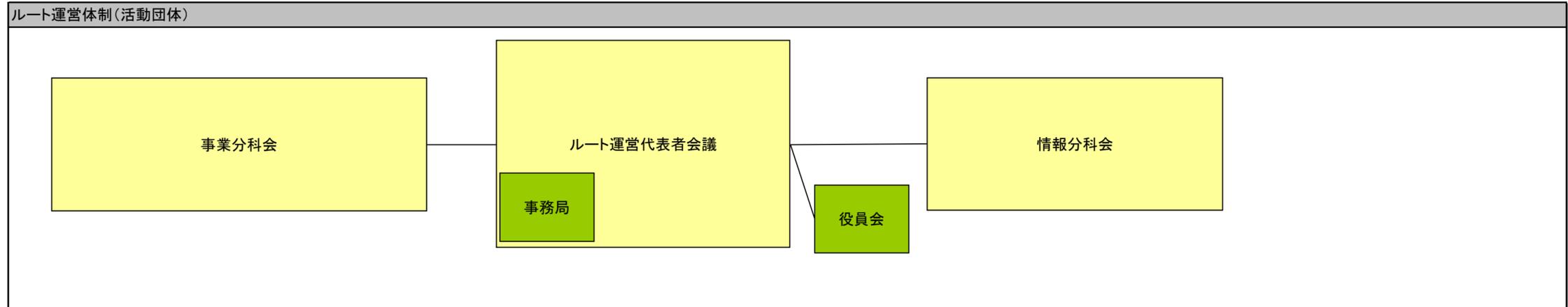


▲函館市縄文文化交流センター

3. ルート運営活動計画の推進体制の状況及び課題

ルート名称:函館・大沼・噴火湾ルート	報告者:函館・大沼・噴火湾ルート 代表 佐々木 哲夫	報告年月:2020/3/31
--------------------	----------------------------	----------------

活動団体  
 函館商工会議所、(一社)函館国際観光コンベンション協会、函館湯の川温泉旅館協同組合、函館商工会議所青年部、函館21の会、函館湯の川温泉旅館協同組合青年部、NGO函館自然観察会、NPO法人スプリングボードユニティ21、北の縄文CLUB、(一財)道南歴史文化振興財団、NPO法人どうなん「学び」サポートセンター、NPO法人函館エコロジークラブ、活カユニット、函館すぷれっと、はこだて菜の花プロジェクト、ふしぎな花倶楽部、函館花いっぱい道づくりの会、函館手工芸の会、(一財)北海道国際交流センター、NPO法人NPOサポートはこだて、戸井コミュニティビジネス研究会、(一社)北斗市観光協会、七飯町商工会、(一社)七飯大沼国際観光コンベンション協会、鹿部温泉観光協会、森町観光ボランティアガイドの会、森町花いっぱい運動推進協議会、森観光協会、(一社)八雲観光物産協会、五稜郭タワー、湯の浜ホテル、任意団体トライセクション



基本方針	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
ルート運営代表者会議					● 8月30日 (ルート総会)			● 11月6日～7日 (道央道南ブ ロック会議) 函館					
役員会				● 7月10日 (ルート役員)	● 8月7日 (ルート役員)								
事業分科会													
情報分科会													
シーニックdeナイト2020								←事務打合せ	→地域内調整		● 令和2年2月1日 (土)、2日(日)、 8日(土)、15日 (土)、24(月・ 祝)実施		

ルート名称:函館・大沼・噴火湾ルート	報告者:函館開発建設部	報告年月:2020/3/31
--------------------	-------------	----------------

基本方針	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
ルート運営行政連絡会議										● 1月31日 協働型道路マ ネジメント会議 上ノ国町	● 2月4日 行政連絡会議 函館市		

4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題

ルート名称: 函館・大沼・噴火湾ルート	報告者: 函館開発建設部	報告年月: 2020/3/31
---------------------	--------------	-----------------

	ルート(エリア)運営活動計画方針	令和1年度の活動内容	活動実施日	実施機関	成果及び課題	総括	活動No
景観	美しい景観とは何かについて考える	—	—	—	—	行政連絡会議を活用したルートが実施している活動に対する人・ものの支援とルートが行っている活動の積極的な情報発信を行っていききたい。	—
	ビューポイントを発掘する	—	—	—	—		—
	ビューポイント周辺の景観向上に取り組む	シーニック清掃活動	平成31年4月29日	函館開発建設部、七飯町	シーニック清掃活動に参加した。また、HPによる情報発信を行うとともに、行政連絡会議を通じた活動の情報提供を行った。		A-1
		大沼国定公園安全祈願祭と大沼湖畔清掃活動	平成31年4月21日	渡島総合振興局、七飯町	大沼国定公園安全祈願祭と大沼湖畔清掃活動に参加した。		—
		はこだて花かいどう	令和1年5月～10月	函館開発建設部、函館市	はこだて花かいどうにおける植栽や全体維持活動、撤去等に係る活動に参加した。また、HPによる情報発信を行うとともに、記者投込・各種プロモーション等を通じた活動の情報提供を行った。		A-2
		湯の川温泉街花いっぱいロード	令和1年5月～10月	函館開発建設部	各種プロモーション等を通じた活動の情報提供を行った。		—
		さわらフラワーロード	令和1年5月～10月	函館開発建設部、森町	各種プロモーション等を通じた活動の情報提供を行った。		A-3
		八雲フラワーロード	令和1年5月～10月	函館開発建設部	各種プロモーション等を通じた活動の情報提供を行った。		—
サルビア植栽	令和1年6月～10月	函館開発建設部、七飯町	サルビア植栽活動に参加した。また、各種プロモーション等を通じた活動の情報提供を行った。	—			

	ルート(エリア)運営活動計画方針	令和1年度の活動内容	活動実施日	実施機関	成果及び課題	総括	活動No
地域	自然を守りながらうまく活用していく	シーニックの森づくり事業 ～スキリとツル剪定～	令和1年8月18日	函館開発建設部、北斗市	シーニックの森づくり事業 ～スキリとツル剪定～活動に参加した。また、北斗市の広報誌「広報ほくと」に参加者募集の記事を掲載した。加えて、各種プロモーション等を通じた活動の情報提供を行った。	行政連絡会議を活用したルートが実施している活動に対する人・ものの支援とルートが行っている活動の積極的な情報発信を行っていききたい。	A-4
		第14回赤松こも巻き体験会	令和1年10月19日	函館開発建設部、七飯町	こも巻き体験会に参加した。また、HPIによる情報発信を行った。		—
		第14回赤松こも外し体験会	令和2年2月22日	函館開発建設部、七飯町	こも外し体験会に参加した。また、HPIによる情報発信を行った。		—
	ガイドの発掘・育成	—	—	—	—		—
	地域と来訪者の心をつなぐ	キャンドル製作体験会in五稜郭タワー	令和2年1月18日	函館開発建設部、森町	キャンドル製作体験会の活動に参加した。また、HPIによる情報発信を行った。		—
		キャンドル製作体験会in石川町会館	令和2年1月22日	函館開発建設部	キャンドル製作体験会の活動に参加した。		—
キャンドル製作体験会inシエスタハコダテ		令和2年1月19日	函館開発建設部	キャンドル製作体験会の活動に参加した。	—		
地域	内部的な関心の共有、意識醸成	令和元年度 ルート運営行政連絡会議	令和2年2月4日	函館開発建設部	函館・大沼・噴火湾ルート 運営行政連絡会議を開催し、ルートの活動報告やシーニックバイウェイの取組みを周知するための広報、シーニックバイウェイと連携可能な取組等について、関係行政機関と情報共有及び意見交換を行った。	行政連絡会議を活用したルートが実施している活動に対する人・ものの支援とルートが行っている活動の積極的な情報発信を行っていききたい。	—
	地域メディアとのタイアップ	—	—	—	—		—
	多彩な世代に訴えかける情報ツールの開発	—	—	—	—		—
観光	地域固有の資源を活かした観光メニューの創出	—	—	—	—	行政連絡会議を活用したルートが実施している活動に対する人・ものの支援とルートが行っている活動の積極的な情報発信を行っていききたい。	—
	活動団体の連携強化と観光の質の向上	シーニックdeナイト2020	令和2年2月1日(土)、2日(日)、8日(土)、15日(土)、24(月・祝)	函館開発建設部、函館市、北斗市、鹿部町、森町	シーニックdeナイト2020に参加した。また、HPIによる情報発信を行うとともに、各種プロモーション等を通じた活動の情報提供を行った。		A-6
	歴史を学び活かす	—	—	—	—		—